

専門部会報告シート

部会名	相談・くらしの部会		報告回	令和2年度第1回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等	
	1	◎鈴木 卓郎	地域生活支援センタープラザ 施設長	
	2	○松林 宏	J P S 訪問介護ステーション 管理者	
	3	原 郷史	地域生活支援センターふらっと センター長	
	4	犬飼 知子	N P O 法人ポップシップ 代表理事	
	5	椛島 剛之	障害当事者	
	6	河井 文	府中市肢体不自由児者父母の会 会長	
	7	栗山 恵久子	府中市手をつなぐ親の会 会員	
	8	野村 忠良	府中市精神障害者を守る家族会 会長	
	9	田中 研二	府中市社会福祉協議会 地域福祉部地域活動推進課 長補佐兼権利擁護課長補佐兼権利擁護係長	
	10	古寺 久仁子	東京都立府中療育センター 相談主任技術員	
	11	鹿内 弘実	東京都立府中療育センター 事務次長	
	12	橋本 雅美	多摩府中保健所 保健対策課地域保健第一担当	
※部会長は◎、副部会長は○				
現状	府中市では、地域生活支援拠点等の整備が未だ進んでいない。平成31年3月の府中市自立支援協議会答申書で相談支援部会からの答申として、基幹相談支援センターの設置について取りまとめた内容を踏まえ、地域生活支援拠点等の整備に向けた検討を進めて行くことが必要な状況である。			
検討 テーマ (概要)	府中市において、市民の方々が障害の種類や程度にかかわらず、安心して地域での生活を送れるような支援体制を整えるために、地域生活支援拠点等の整備にかんして必要な機能を検討する。検討の手順として、まず府中市における地域ニーズの抽出を行う。そのうえで、抽出されたニーズに沿った地域生活支援拠点等の必要な機能について検討する。			
取組 経過	<p>【令和元年度の取組】</p> <p>*地域生活支援拠点等を考える意見交換会の開催</p> <p>府中市での地域課題について幅広い意見を聞くために、令和2年2月12日(水)に「地域生活支援拠点等を考える意見交換会」を開催した。意見交換会には、自立支援協議会の各委員、市内の障害当事者・家族・各団体等の代表者、さらに地域生活支援拠点等の機能にかかわる市内の事業所・医療機関等のスタッフら総勢30名以上が出席された。意見交換会当日は、まず参加者に地域生活支援拠点等の説明を行った。その後、K J法を用いたグループワーク方式で意見交換を実施している。</p> <p>意見交換会当日にグループワークの中で出された意見を集約したものは、別紙資料「地域生活支援拠点等の整備について」を参照のこと。</p>			

【令和2年度の取組】

令和2年6月19日（金）に今年度第1回の専門部会を開催した。前述の意見交換会のグループワークで出された参加者からの意見を、地域生活支援拠点等における5つの機能に即したかたちで分類し、ニーズの抽出を行った。その上で新型コロナウイルス感染拡大による時代の変化等も踏まえ、現状の府中市における課題とは何か、また、府中市における地域生活支援拠点等の方向性について引き続き議論することとした。

検討結果

1 意見交換会をふまえた地域ニーズの抽出について

2月12日の意見交換会では、参加者から地域で障害者の生活を支えていくために、府中市で今何が必要とされているかについての様々な意見が出された。その内容を地域生活支援拠点等の5つの機能に分類して、それぞれのニーズに対応するにはどのような施策を考えればよいかを部会として検討した。

- (1) 相談機能にかんしては、土日・夜間も相談対応可能な窓口の必要性や、相談を受ける職員の専門性の強化、より相談しやすい場所を目指して既存の相談機関がインフォーマルなサービスとの連携を図ること等がニーズとして抽出された。また、既存の相談支援機関は、相談を受けた際に「それはうちで対応することではない」と相談を終了せず、必ず相談をどこかの機関につなげるような対応をすることが重要であることを検討した。
- (2) 緊急時の受け入れ・対応機能にかんしては、現状では対応できる施設がほとんどなく、対応できる障害も限られていることが確認された。そのうえで、緊急時対応のニーズを持っている方を計画相談支援や地域定着支援といった既存のサービスにつなげ、日ごろから緊急時対応の体制を個別に築いていくことが必要との検討を行った。
- (3) 専門的人材の確保・育成の機能については、相談支援に「相談に来る方の思いを受け止められる人材」を育成する必要性と、ヘルパーの数・質の確保を行い、災害時や緊急事態宣言等の非日常的な状況になった場合にも、各事業所が連携して人材不足に陥らないための体制を日常的に築いておくことが必要との議論が行われた。

会議開催状況と内容

	日程	内容
第1回	6月19日	地域生活支援拠点等を考える意見交換会の内容をふまえて、地域ニーズの抽出と拠点等の機能に即した分類を行う。
第2回	7月15日	拠点等の機能に即して分類したニーズに対応する現状の社会資源を分析し、それでも足りないものをどのように地域生活支援拠点等として事業化していくかを検討する。
第3回	8月3日	第2回と同様の内容について、引き続き検討する予定。
第4回	未定	未定
第5回	未定	未定
第6回	未定	未定